

症例2.

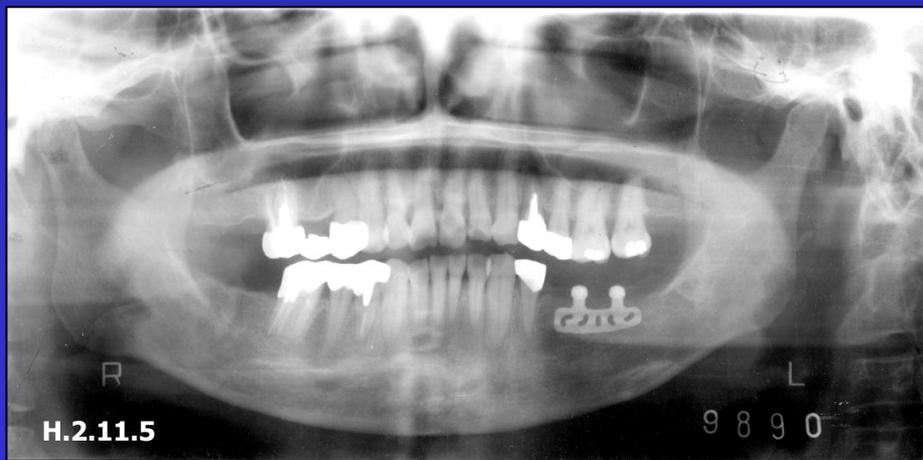
埋入:H.2.11.5

患者:昭和10年1月生(当時 55歳・女性)

12年後感染によりインプラントの動揺・疼痛・膿が出るということでインプラント除去と同時に骨造成。3か月後にインプラントの再埋入後、現在に至っている。

患者さんの感想:12年間入れ歯でなく自分の歯と同じように噛んできたのに、今更入れ歯は嫌です。以前と同じように噛みたいと言う事で、再インプラントしました。

12年後疼痛と排膿にてブレードの除去



初診時

骨造成後3か月のレントゲン写真
初診時と変わらない、良い骨が出来ました



リカバリー後

初診時からトータル26年間インプラント
で噛んでおられます



現在の口腔内

